

ファミリー・サポート・センターくるめ どっちも会員

一時的な子育てを助け合う有償のボランティアです。
「おねがい会員」地域の中で子育ての手助けがほしい人
「みまもり会員」子育てのお手伝いがしたい人
「どっちも会員」両方をかねる会員

久留米市では
おねがい会員 1,137 名、
みまもり会員 359 名、
どっちも会員 87 名、
計 1,583 名が登録しています。
(平成 29 年 10 月 1 日現在)



笑顔はリレーする。
あなたの
はじめての一步は、
大切な人の笑みに
つながっている。



安武塾運営委員会

中学生を対象に、地域ボランティアによる学校の授業の予習・復習の見守りなどを毎週土曜日に校区コミュニティセンターで開催しています。

地域の子どもの成長を願う気持ち

もともと安武こども土曜塾では小学校 1 ～ 6 年生までを対象に体験学習を行っていますが、この地域で育った子どもたちが中学校に進学してからのがっかりで、ママ友たちと団体を立ち上げ、活動を始めました。親にとっては勉強の問題や部活動との両立など中学校生活への不安があり、そんな場があれば

10 いいじま やすこ 飯島 寧子さん。

会員になったきっかけ

もともと子どもに係わる仕事をしていました。出身が関東で、夫の転勤により様々な地域に住みましたが、大変な時に周囲の方に助けてもらったので、私にもできる事があればと講座を受け、会員になりました。

家族の協力や理解が活動の支えに

みまもり活動は自宅で行うため、家族も興味を持ち協力してくれます。今日はどんな子が来たのかなどコミュニケーションも増え、家族や周りに支えてもらっているのが嬉しいです。

詳細は [ファミリー・サポート・センターくるめ](#)

11 おかた まみ 緒方 麻美さん。

嬉しいなという、みんなにとって「理想的な塾」を目指しています。現在、活動 4 年目になりますが、これまでの受講生が高校に進学し、部活動や生徒会の役員として頑張っているという話を聞くと、とても嬉しく思います。

10 年先のまちづくりのたねまき

子どもたちは、勉強だけではなく、ボランティア活動など地域活動にも積極的に関わっています。子どもたちが育った町のために誰かのために、自分たちの感じた地域のあたたかさを広げていける人に育ってほしいという想いで、続けています。

